

テーマ 人材確保・人材育成

## 次代を担う中核人材育成のための技術者養成事業を展開

### 中部金属熱処理協同組合

「産学連携人材育成事業」を活用し中核人材育成のための教育カリキュラムを策定。組合事業として技術者育成のための教育講座を開講し、組合主導による技術者養成事業をスタート。

#### 背景と目的

熱処理業界は、自動車産業や機械産業における部品の高性能・高精度化を支えるキーテクノロジとして、ユーザーからもコストダウン要求と共にたゆまぬ技術力の高度化を求められている。

こうした中、組合員企業においてはこれまで生産現場を担ってきた人材が第一線を退きつつあり、中核的人材と次代を担う人材の育成確保が緊急の課題となっていた。このため、組合では組合員全般に共通する経営課題として人材育成問題を最重点に位置付け、組合

が先導役となり業界を挙げて技術者育成システムの構築を図っていくこととなった。

#### 事業・活動の内容

平成20年度からの国の「産学連携人材育成事業」を活用し、組合員企業の中核人材育成のための教育カリキュラムを策定。平成22年度より同カリキュラムに則って組合事業として技術者育成のための教育講座（金属熱処理チャレンジャー講座）を開講するなど組合主導による本格的な技術者養成システムの構築・実現に向けた活動を開始した。

#### 活動の成果

金属の熱処理は、我が国の産業技術の優位性を確保している重要な要素であるが、業界は中小零細企業で占められ、人材の育成確保にも事欠く状況となっている。組

合員企業においては、人材育成には関心があるものの企業内研修など独自に実施する程の企業体力もなく、また、当地域には体系的に金属熱処理技術を教育する機関もないことから、技術者養成のニーズが高まるものの具体的な対処法が打ち出されない状況が続いていた。こうした中、今回組合主導による人材育成事業が実施され、新技術の開発、生産性の改善、問題解決能力をもった中核人材を育成することは、組合員企業をはじめ熱処理業界全体の技術力向上に幾許かの貢献が出来る、組合への求心力が高まったといえる。



現場実習風景



▲チャレンジャー講座講義風景

### 中部金属熱処理協同組合

住所：〒456-0032  
愛知県名古屋市中熱田区三本松町  
17番3号  
設立：昭和46年4月  
出資金：3,250千円  
電話：052-872-4022  
URL：http://www.chubu.or.jp/  
業種：金属熱処理業  
組合員：65人  
組合専従者：2人